

## 令和6年春期 富岡第一地区推進連絡会要旨

### 1 日時

令和6年3月23日（土）15:00～17:00

### 2 場所

富岡ふれあいハウス

### 3 参加者

（地域側）自治会・町内会、地区社会福祉協議会 22名  
（支援チーム、その他行政側）

区役所 7名

区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 4名

小学校・中学校 2名

司会進行 富岡第一地区社会福祉協議会 事務局長

#### 【議題】

#### 1 開会のあいさつ

富岡第一地区社会福祉協議会会長及び連合町内会副会長

#### 2 金沢区福祉保健センター長あいさつ

#### 3 金沢区社会福祉協議会事務局長あいさつ

#### 4 出席者紹介（自己紹介）

#### 5 地域福祉保健計画 令和5年度の振り返り

富岡第一地区社会福祉協議会会長

#### 6 意見交換（グループワーク）

##### 【概要】

・参加者が10名ずつ3つのグループに分かれて各自の意見を出し合い、各グループの意見を取りまとめて発表を行った。

##### 【グループワークのテーマ】

テーマ①：「今後の連合町内会、社会福祉協議会の活動について」

テーマ②：「防災カード」の活用方法について

##### 【発表内容】

テーマ①：「今後の連合町内会、社会福祉協議会の活動について」

##### ○課題

・若い世代の積極的参加、継続的活動を見据えた担い手不足への対応が課題。

- ・地域活動の負担が特定の人に偏らないよう配慮が必要。
- ・高齢者が地域とのつながりを持ち続けられるような機会が必要。

#### ○展望

- ・世代間交流ができるイベントをもっと開催してほしい。
- ・子ども同伴でも地域の会議等に参加しやすい環境をつくっていききたい。
- ・広報を効果的にして多くの人に興味を持ってもらえるように活用したい。
- ・顔の見えるつながりとして、地域でのイベントは続けたい。
- ・夏祭りウォーキングの隔年開催は良いと思う。

#### テーマ②：「防災カード」の利用方法について

- ・各自治会活動でPRして効果的に配付し、「携帯電話と一緒に携帯してね」と使い方までお伝えできると良い。
- ・災害時に少しでも落ち着いて行動ができるようにする目的で作成したので、すぐに取り出せるようにしておき、実際の災害発生時を想定した訓練が必要。
- ・定期的に家族で確認することで会話のきっかけにもなる。
- ・若い世代に馴染みの薄い公衆電話の使用方法が記載されており、地区内の公衆電話の場所が書いてあるのが良い。カードを活用して学校で公衆電話の使い方を教える機会があると良い。
- ・カードへの記入や確認方法など、高齢者世帯へのフォローが必要。

### 7 学校での子どもたちの様子について

小田中学校教員

#### 【概要】

- ・地域の人と顔の見える関係が子どもに安心感を与えている。

小田小学校校長

#### 【概要】

- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、令和5年はマスクを外して活動するようになり、行事も全て計画通り実施することができた。
- ・タブレットが生徒1人ずつに配布され、ICTを取り入れた活動が増えている
- ・PTAのイベントが再開した。今後も地域とのつながりのあるイベントを継続していく予定。

### 8 令和6年度金沢区予算の照会

地域支援チームから説明

### 9 閉会のあいさつ

青砥町内会会長